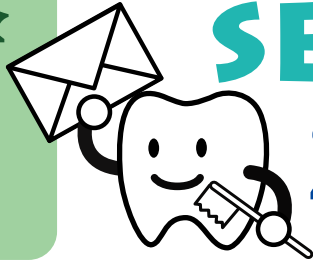


千歯会 だより



SENSIKAI 2017夏号



ミクロの視界

最新の 歯科治療



痛くない!

歯の治療中、痛みを軽減させるために麻酔を使いますが、「麻酔注射が痛い」ということもよく言われていました。最新の歯科治療では、痛みの少ない麻酔が行われています。

・塗る麻酔

歯肉に麻酔薬を塗布する「表面麻酔」をすることで、麻酔注射や歯石クリーニングの痛みを軽減します。

・細い針

細い注射針を使用することで、痛点を避け、傷口を最小限に留めます。

・電動注射器

コンピューター管理された最適の注入速度でゆっくり麻酔薬を投与し、痛みを感じにくくさせます。



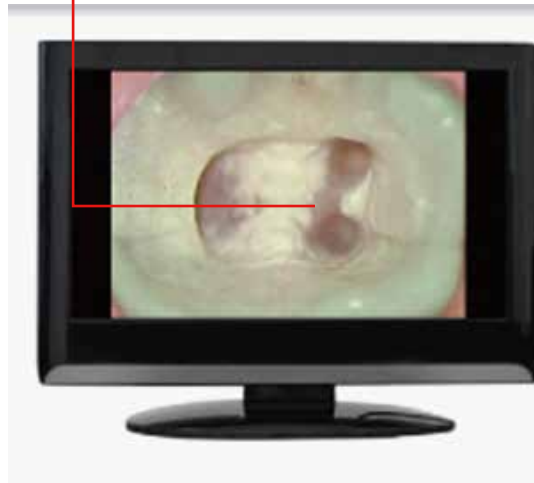
削らない!

・最小限の干渉の治療

開雲に歯を削ると、ご自分の歯がどんどん減り、最後には詰め物・被せ物の歯を抜歯することしか治療が出来なくなります。

現在は、消毒や殺菌で虫歯の進行を止めたり、ドリルを使わず薬品で虫歯部分だけを溶かしたり、小さな虫歯へは直接樹脂で詰め物をするなど、出来るだけ歯を残した「削らない治療」へと進化しています。

歯に穴を開けてマイクロスコープでのぞいたところ。裸眼では見えづらい根管の様子がはっきりわかります。



マイク ロ ス コ ー プ



おゆみ野総合歯科
クリニック院長 大橋 智行

歯科用マイクロスコープとは脳神経外科や眼科、形成外科などで使用していた手術用顕微鏡を歯科用にしたものです。医科の手術では血管や神経など肉眼では見えない手術を顕微鏡を使って行います。歯科の治療も肉眼では見えない歯の神経や虫歯の治療が多いのです。マイクロスコープを使うことにより、見えないものが見えるようになり、できない治療ができるようになり、治療の目的、部位に応じて3〜25倍の拡大率で視認することができ、細菌に感染した歯質や歯髄と取り切れていなかったり、逆に除去しすぎたりするリスクを軽減することができ、安全です。

アメリカでは、根管治療の専門医にマイクロスコープの導入義務があるほど、その必要性・有効性が認められており、贅沢品ではなく必須のツールとして認識されていますが日本では歯科医院全体の数%しか普及していないのが現状です。

日本においても、2004年に日本顕微鏡歯科学会が発足されるなど、マイクロスコープの必要性がますます認識されてきています。2014年の診療報酬改定では外科的な根の治療に、2016年改定においては複雑な奥歯の根の治療に加点され、マイクロスコープ歯科治療の有用性・必要性を国として認め、導入を促しています。

また、拡大された治療画像を記録することによって、術者には見えなかった視野がアシスタントと共有できることによりスピーディーかつ精密なアシスタントワークが可能になります。患者さんも、歯にひびが入っていると穴が開いているなどの肉眼では確認できない状態も目で確認できるようになります。

現代医療は医療者の独断ではなく、状態をよく説明し理解のもと治療費も含めて患者さんの同意を得て治療方針を決定するので、こちらも術者の視界を共有することが非常に重要となります。

こういった医療機器、治療技術の進歩が一本の歯を将来まで大切にしていける手助けになればと思います。

大網歯科医院

今年もスペシャルクリーニングを実施いたします。

ベーシックケア

歯石除去 / ポリッシング / フロス / エナメルトリートメント

+

選べるケア

染め出し / ステイン除去 / フッ素塗布 / カルシウムパック

+

スペシャルケア

(歯肉)ガムマッサージ / リップケア

ガムマッサージジェル アモータ

<効果・効能>
アロマエッセンスが入っているので、
アロマの効果も期待できます。
・ハーブエッセンス：殺菌効果
・オレジンエッセンス：リラクゼーション効果
※2種類から選べます。



普段のクリーニングより、さらに念入りのクリーニングを受けたいとお考えの方や、時間がとれなくて普段のクリーニングを受けていない方はぜひこの機会をご利用ください。

要予約 10,800円

大網歯科医院 TEL 0475-72-6480

片貝デンタルクリニック

削って詰めた歯は『これでもう治った』と安心しがちですが、人工の材料に置き替わったということであり、元どおりになったというわけではありません。



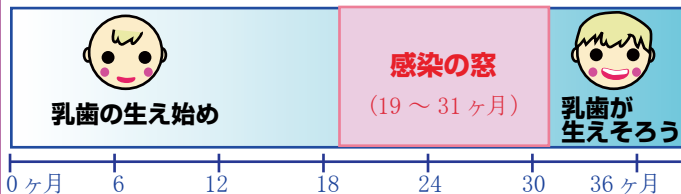
虫歯になったということは、口内が虫歯になり易い環境であることを意味しています。口内環境を改善しないとまた虫歯になってしまいます。ブラッシングが不足すると、歯と詰め物との境目にプラーク(細菌のかたまり)がたまり、そこから新たなむし歯(二次う蝕)ができてしまうことがよくあります。

ミクロ的に見ると、詰め物と天然の歯の間には境界ができ、そこに細菌が付着しやすいのです。あらたなむし歯ができていないか定期的なチェックや、ブラッシング指導、専門的なクリーニングを受けましょう。

おゆみ野総合歯科クリニック

～ 感染の窓って?? ～

虫歯菌の原因菌であるミュータンス菌が最も母子感染しやすい特に危険な時期のことで、乳歯の奥歯が生えてくる1歳7ヶ月から2歳7ヶ月の期間を指します。



赤ちゃんは初め虫歯菌というものを持っていません。感染する時期が遅ければ遅いほどお子様の虫歯予防につながります。お母さん、食事中にスプーン、お箸、ペットボトルなどの共有をしていませんか？おばあちゃん、口でかみ砕いて食べ物を与えていませんか？お父さん、天使のような我が子にチュッなんてこと……。おじいちゃんもこっそり？！ミュータンス菌が感染してしまいますよ。

家族の皆が歯科医院で定期的なクリーニングを受け、毎日のケアを徹底することで大切なお子さんを、可愛いお孫さんを虫歯菌から守ってあげてくださいね。

訪問事業部

Q. 入れ歯にも歯石はつくの？

A. つきます。



歯がなくて総入れ歯でも歯石はつきます。入れ歯にも、唾液に含まれる成分や細菌の塊が付着します。歯石が付着するのを防ぐには、日頃からお手入れをすることが重要です。

たとえば、歯磨き粉で入れ歯を洗うと、研磨剤で入れ歯に傷が付いてしまいます。傷が付くと細菌が付着しやすくなります。

入れ歯を洗う際には水で義歯ブラシを使用したり、夜間は義歯洗浄剤につけてください。入れ歯の歯石を除去したい場合は、ご相談ください。